資料 2

全国道路基盤地図等データベースについて



全国道路基盤地図等データベースの整備について

□ 整備目的等

課題 背景

- 〇「道路基盤地図情報」は、道路工事で作成される道路工事完成図の電子データを2008年より収集・蓄積。_※ また、「道路台帳附図」の電子化も進んでいるが、これらのデータを活用できる環境が整備されていない。
- ○「全国道路施設点検データベース(点検DB)」など、位置座標情報を持つデータが整備されつつあるが、大縮尺の背景図がないため道路上の細かい位置関係を可視化できない。

※直轄国道および有料高速(ネクスコ、首都高、阪高、本四、指定都市高速)を対象

対応 方針

- 全国の直轄国道等の道路基盤地図情報及び道路台帳附図(以下、道路基盤地図等)を整備・公開(閲覧・取得)する環境を構築。
- 道路データプラットフォーム傘下の各種データの背景図に活用し、点検結果等の詳細な位置関係を可視化。

□ 今後の取り組み等

- 令和6年3月下旬より、全国の直轄国道等の道路基盤地図等を「全国道路基盤地図等データベース」において公開予定(無料)
- 道路台帳附図等データのインターネット閲覧を可能とし、閲覧のための訪問や窓口負荷を軽減。
- O APIを整備(有料・利用者登録が必要)
- 国土交通データプラットフォームとの連携
- 各道路管理者による道路基盤地図等の登録が可能に
- 〇 道路基盤地図等を随時更新・追加
- 利便性の高い道路管理支援アプリケーションの開発を促進し、道路維持管理の更なる効率化を図る。

全国道路基盤地図等データベースの概要

- 全国の直轄国道等において膨大な道路基盤地図等が蓄積。
- 大縮尺の道路基盤地図等を一元的に活用できる環境を構築:全国道路基盤地図等データベース (道路基盤地図情報:高速道路約9割、直轄国道約3割、道路台帳附図:直轄国道概ね100%)
- ○3月下旬よりDBの公開を開始:webブラウザからの閲覧等が可能。加えてAPI(Application Programming Interface)を公開

全国道路基盤地図等データベース

令和6年3月公開

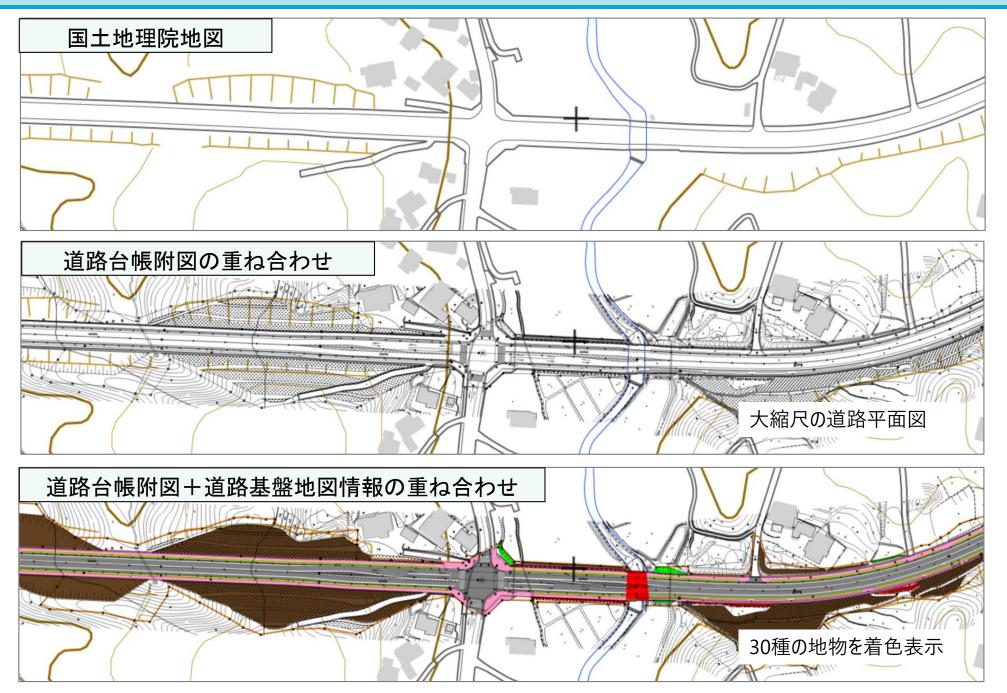
道路基盤地図等



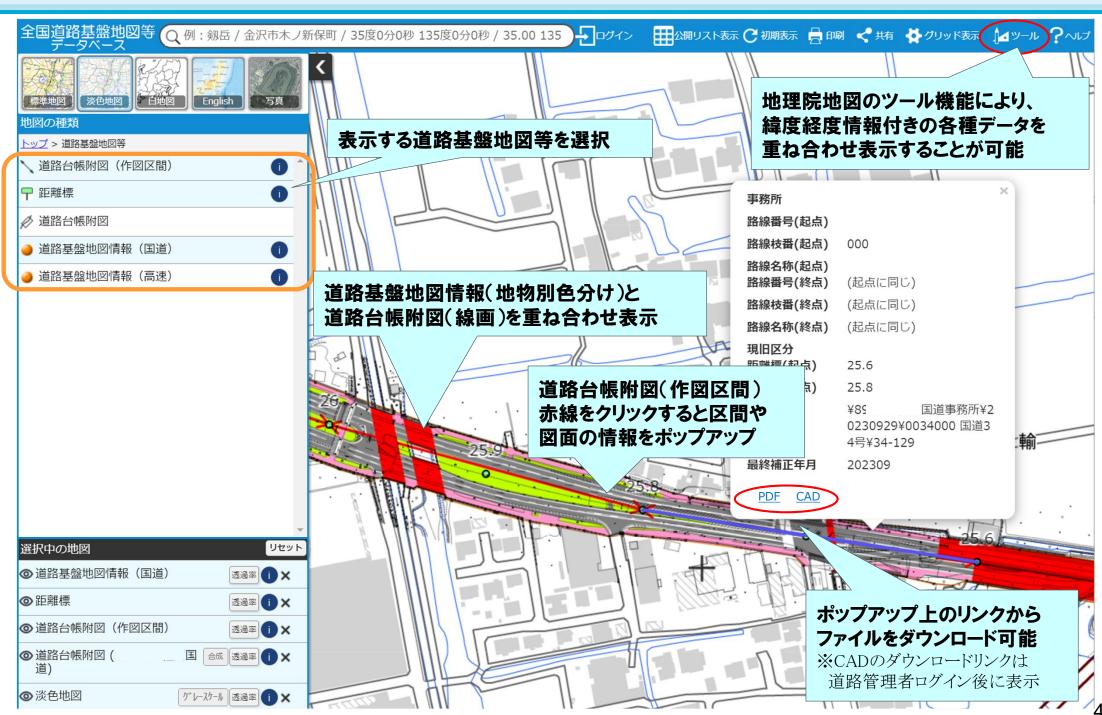
•国土地理院地図

•距離標

全国道路基盤地図等データベースの表示イメージ

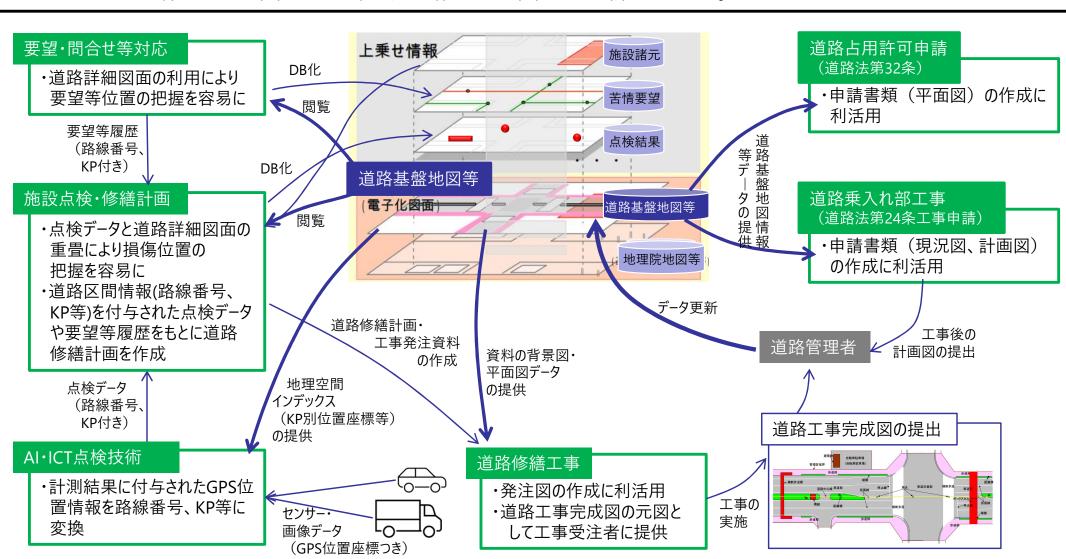


全国道路基盤地図等データベースの画面



道路基盤地図等の整備・公開により期待される効果

- 道路詳細図面を閲覧に供することで、要望・問合せや点検データの位置特定を支援。
- 点検データに路線番号、KP等の道路区間情報を付与可能。
- ○申請書類や工事完成図書のベースマップとして提供することで、申請者や工事受注者による資料作成負荷や、 道路台帳附図閲覧のための訪問・窓口負荷が軽減。
- 官民の工事で作成された図面が循環し、道路基盤地図等の更新が円滑化。



令和6年度以降の取組み

○ 道路管理支援アプリケーションなどへのデータベースの利用拡大と、道路基盤地図等の作成プロセスの改善を通じて 道路維持管理の更なる効率化と道路基盤地図等の追加・更新の促進を目指す

